

地域をつなぐかけはしに

# 虹

VOL.11  
2019.9.1

## CONTENTS

新任医師ご紹介	2
職場紹介	2
教えて!院長先生	3
「透析施設」のご案内	6
HOT NEWS	7
附属施設のご案内	7
外来診療担当医表	8
その他お知らせ	8

WAKASA TAKAHAMA HOSPITAL



七年祭り期間中には、いくつかの区に、病院および附属老健施設へ 囃子・踊り・にわかを披露いただきました。  
みなさん笑顔で、楽しそうに見ていらっしやっただのがとても印象的でした。  
写真は中町区の囃子の披露の様子です。



独立行政法人地域医療機能推進機構  
Japan Community Health care Organization : JCHO

## 若狭高浜病院

Wakasa Takahama Hospital

〒919-2293 福井県大飯郡高浜町宮崎第87号14番地2  
TEL **0770-72-0880** FAX 0770-72-1240  
E-mail main@takahama.jcho.go.jp  
<http://takahama.jcho.go.jp>



New Face

## 新任医師 ご紹介

初めまして



内科 医師 奥津 理彦  
おくつ よしひこ

今年7月から内科に赴任しました。現在、内科外来や入院病棟、救急外来で勤務しております。

出身は神奈川県で、嶺南地域に赴任して5年目になります。とても魚が美味しく海が綺麗な地域で、気さくな人柄の皆様にご日々助けをいただきながら成長してきました。以前は小浜病院・救命救急センターで勤務しておりました。内科医としての赴任は初めてで、至らぬところも多々あると思いますが、患者様の笑顔が見られるよう一生懸命尽力して参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## 職場 紹介

### 栄養管理室

皆様の健康管理を食事の面から  
サポートします！

今年度より“篠田 和典”栄養管理室長が赴任し、栄養管理室は3名の管理栄養士で栄養管理を担当しています。病状や性別・年齢・体格などにあわせて栄養量や食事形態を確認し、治療の一環として食事を提供しています。また、退院後の病状安定のために、食事の内容や食べ方などのアドバイスをを行い、外来や在宅移行後も栄養指導で状態の確認などをさせていただいています。

外来では、働き盛りで過食などによる生活習慣病や高齢で食べられない事による栄養不足(低栄養)など基礎疾患や年齢・生活背景など幅広い問題があります。人の身体は食べたものから作られています。そして食事は毎日行うことです。そこが崩れないよう病院・老健に関わる皆様の栄養・健康管理のサポートに尽力いたしますのでよろしくお願ひします。



## 若狭高浜病院の基本方針

〈理念〉

私達は温かい思いやりの心をもって、良質で安全な医療、介護を提供し、人々の人生に寄り添い 安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

〈基本方針〉

1. 利用される方の権利と尊厳を守り、常に相手の立場にたった医療、介護を実践します。
2. 常に医療水準の向上に努め、良質なサービスの提供を目指します。
3. 地域で安心して暮らせるように、切れ目のない医療、介護を提供します。
4. 地域を支える優秀な人材を育成し、生き生きと働ける職場作りに務めます。
5. 独立行政法人として、透明性の高い、自立した経営を行います。



# 教えて！ 院長先生



地域のみなさまには

すっかりおなじみのJCHO若狭高浜病院ですが、ここ数年、医療をめぐる制度が目まぐるしく変わり、ご利用になる方々へ新たなルールについてご理解・ご協力をお願いすることも多くなっています。そこで、赤ふん坊やがJCHO若狭高浜病院を上手に利用するためのお話を河野幸裕院長に聞きました！今回は「救急外来受診編」です。

## 「救急外来」は全科の医師が持ち回りで担当しています



**院長先生、病院って、平日の昼間しかやってないけど、夜中や休日に突然体調を崩したらどうしたらいいの？**



夜間・休日には通常診療を行っていないから、救急外来を受診してもらうことになるね。



**救急外来…テレビドラマで観た！**



テレビとは違うよ。トリアージと言って、まず緊急度や重症度を判定することと、初期治療を始めるのが一次救急の役目だよ。その結果、必要と判断したら二次救急や三次救急に転送するのも役目だよ。だって全診療科の医師や麻酔医や手術室の看護師を待機させておくには、時間外にも沢山の患者さんが集まる大病院でないとその体制がとれないでしょ。



**へー、そうなんだ。**



平日の日中なら、午前中は一般診察として各科の医師が診て、他科の判断が必要なら、内科や外科、整形外科や耳鼻科・婦人科のそれぞれの先生方に相談することもできる。休日や夜間に足をケガして救急外来に行っても、その日に診てくれる宿日直の医師は

内科医かもしれないし、「整形外科医に診てほしい！」と思っても、その希望が叶うのは、「偶然その日が整形外科医担当であった時だけ」(笑)。平日の午後も基本的には救急対応に準じた対応になるね。



**平日だったら午後でも病院の中を探せば整形外科の先生はいるでしょう？**



そりゃいるけど、午後は手術に入ったり、入院患者さんの診察や処置があるから外来診療は原則午前中だけです。(8月1日現在、第4週火曜日の内科、毎週月曜日の整形外科、月・水の耳鼻科は午後診察があります)午後に次から次からと外来患者の診察に呼ばれたら、入院患者さんを診察したり治療方針を考えたり、家族への説明やチームカンファレンスもできません。これは医療安全上も大切なことですよ。



**なるほどー。でも、内科の先生に足のケガを診てもらっても大丈夫？**



宿日直医とはいえ、うちのドクターは全員初期診療がきちんとできるから



安心していいよ。緊急性がないと判断したら「明日もう一度整形外科を受診して下さい」で、その日の診察は終了。



**ちょっと安心しました。でも、だったら最後まで診てくれたらいいのに。**



そもそも、休日や夜間の救急外来の目的は、さっきも言ったまずトリアージ（専門科医師が診る必要があるかどうかの緊急性の判断をすること）と、初期治療「専門科医師へ引き継ぐための応急処置を行うこと、のふたつです。

しかも、休日夜間は診断に必要な放射線・検査部門も最低限しか稼働していないので、救急外来で確定診断まで出来るとは限らないし、軽症なら応急処置だけ行って、平日の専門科受診をすすめる。重症なら（緊急性が高ければ）その場で専門医を呼び出して治療を依頼するか、専門医のいる他の病院へ紹介搬送します。



へえー。



救急車も「断らずに受け入れる」がモットーですが、救急隊からの情報から「少しでも早く専門医のいる病院に搬送したほうがいい」と判断されるようなこともあります。そんなときは必要最小限の処置や検査だけして送ったり、直接向こうへ行ってもらうほうがより適切なこともあるね。



**若狭高浜病院では専門医の治療は受けられないの？**



専門医もいるけれど、診療科が限られているので、小浜や舞鶴の専門医に紹介が必要なことも結構あります。最近は専門が細かく分かれていて、若狭高浜病院の人員配置と設備では行える診

療の限界もあるからね。



**はじめからもっと大きな病院に行ったほうがいいの？**



ではなくて、さっき言った「専門科医師が診る必要があるかどうかの緊急性の判断をすること」ってのが実はとても重要でね。これができないと、軽症患者の多くが高度救急の外来に殺到して、本来そこで引き受けるべき重症患者の受け入れが遅れてしまう。この地域においてうちの救急外来がきちんとこのトリアージを果たしているから小浜や舞鶴との連携がうまくいっているわけですよ。



**自分じゃ重症なのかわからないから、とりあえず若狭高浜病院の救急外来に行けばいいの？**



そう。辛い症状・心配な症状があるなら受診したらいいですよ。そして何ともなかったら安心して帰れるでしょ。極端なことを言えば、救急外来は「今すぐに何か治療・処置しなければ明日までにかなり重症化するか生命が危ない」状態なのかどうかを判断するための場であってね。実際にはそんな重症の患者は少ない。軽症の患者さんにとっては、あくまで救急外来は「一般外来へのつなぎ」の役割ですよ。

「高浜地域医療サポーターの会」がDVDやパンフレットを作成してくれていて、こういうときは直ぐ受診、こういう場合は翌朝まで待ってもいいなど分かりやすく纏めてくれているよ。



**「救急」ってついてるから、待たずに診てもらえるの？**



そう誤解されてる人も結構おられるかもしれませんが、時によりもですが、実際

には待ち時間が長いときもありますよ。このへんで休日や夜間に受診できる病院は少ないし、患者さんが集中しがちになるから。連休中はかなり混みますね。「連休が続いてしばらく外来に行けないから救急外来に行っておこう」という発想の方が増えるからかもね。働く医師の方も激務ですよ。

医療スタッフは患者さんのスムーズな受診のため最大限努力はしていますが、時に重症患者の救急搬送と重なってしまったときなどに一般外来より長い待ち時間が発生しうることもやむを得ないご理解下さい。もちろん、待合いにおられる方々の重症度・緊急性を判断して診察の優先度は調整(トリアージ)させていただきます。



**時間外に受診しても結局待たなくちゃいけないことになるんだ…。**



それだけじゃない。救急外来では、一般外来と全く同じ治療を受けても医療費は高くつくって知ってる？



**ええっ！そうなの？何で？**



定められた診療時間以外の受診では、時間外加算や休日加算、深夜加算といった、医療費を上増しする仕組みがあつてね。一般外来を受診できる時にわざわざ救急外来を受診すると、割高になるんですよ。



**なるほど。じゃ、診断書なんかの書類だけ書いてもらいに行くのはどうですか？**



**診断書は出せないことも多い**

交通事故や労災などで受診した当日なら、診察した医師が時間外でも書けないことはないけど…あくまでも応急処

置の段階なのでね、「治療に要する期間」とか「後遺症」などについては言及できないこともあるね。過去の診察や入院に関する書類を求めて来られた場合、とりあえず即日発行は難しいね。まず、主治医が書くものだから。お預かりはさせてもらうけど、過去の診療経過を確認したり、場合によっては診察も必要ですからね。せっかくお休みの日にわざわざ来られてムダ足になったら気の毒やから、平日の昼間に電話で問い合わせさせていただくといいね。



**気づいたらお薬が切れてて…こんなときは出してもらえますか？**



**薬は数日分しか処方できない**

お薬が切れる前に忘れずに受診したほうがいいなあ(笑)。最近はほとんどが予約制になっているから予約日にきちんと受診すればまちがいがいがないはずでしょ。たまに、あなたのように定期的に処方されている薬がなくなって、夜間や休日の救急外来にやってくる方がおられるけど、この場合でも、1ヶ月や2ヶ月といった長期の処方ではできませんね。原則、救急外来で処方できる薬はせいぜい2・3日分。数日中に主治医の診察を受けることが前提となってるから、それまでの分だけ処方します。普段診療していない医師が長期間の処方を行うことは、患者さんにとって様々なリスクを生むからね。



**救急外来は、辛い時症状があるときにとりあえず重症かどうかを判断してもらう場所なんだね。**

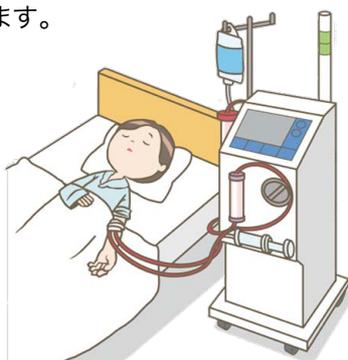
**緊急性がなさそうなら、できるだけ平日の午前中に受診するほうがいいってことがわかりました。**

# 「透析施設」のご紹介

## 透析医療をご存知でしょうか？

腎臓の機能が低下した状態をCKD(慢性腎臓病)といい、「尿が出なくて体に水分が溜まる」「体内の老廃物(尿毒素)が溜まる」「ホルモンの分泌が低下する」などの状態になり生命に影響します。その場合に腎臓に替わって水分と尿毒素を取り除くことを透析と言います。

医療と技術の進歩で老廃物の除去は腎臓に近づきました。また、ホルモンの分泌は、薬剤でコントロールが可能になってきました。



若狭でも、新規透析患者数は減少していますが、透析患者数は年々増加しています。

## 大飯郡 唯一の透析施設としての責任

日々の透析では、長期透析による合併症対策、高齢者に対する対応、糖尿病など併発疾患の対応などが必要です。当院は大飯郡で唯一の透析施設として、京都大学の透析医師の協力を得ながら月・水・金曜日の午前と午後透析を行っています。地域の透析患者さんの透析合併症に対応できる良い透析を提供したいと考えています。

2019年3月には、高浜町からの一部補助を受けて、老朽化した15ベッドの透析装置すべてを新しい治療が行える最新のものに更新しました。また、入院透析に対応する療養病棟の看護職員も増員しました。透析技術認定士や透析看護認定看護師など、専門資格を取得したスタッフも配置し、看護の質向上にも取り組んでいます。

## CKDは新しい国民病！！

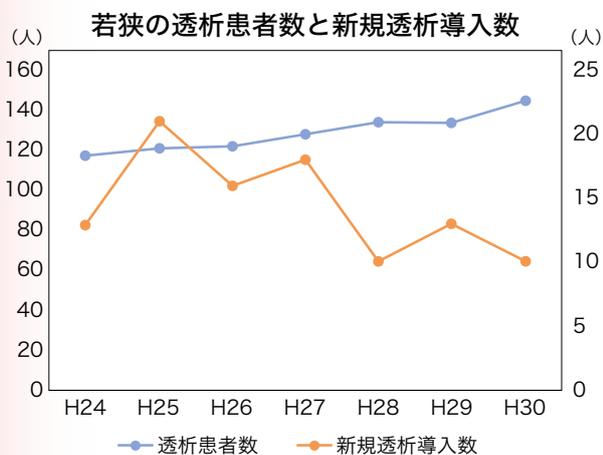
現在、約33万人(日本透析医学会統計報告より)の方が透析を受けています。透析には、血液透析と腹膜透析がありますが、ほとんどの方が血液透析を受けており、透析＝血液透析と認識されています。全国の高齢化と同じように透析患者さんも高齢化が進んでいます。

また、糖尿病や高血圧から腎臓が悪くなり透析を受ける方が増えています。国は腎臓を守る予防的な医療に力をいれ、新たな透析患者さんを増やさない取り組みを行なっています。

## 質の良い透析、地域医療に向かって

これから高浜町の高齢化は進むと言われ、透析患者さんの高齢化も例外ではありません。認知症をはじめ、体力や活動量が低下した高齢透析患者さんへの対応が重要です。

当院は、病院、訪問看護ステーション、老人保健施設があり、高齢患者さんの対応も含め地域に根差した医療を推進しています。病院理念にある「私達は温かい思いやりの心をもって、良質で安全な医療、介護を提供し、人々の人生に寄り添い安心して暮らせる地域づくりに貢献します。」を実現する質の良い透析医療、地域医療を行います。



「福井県透析施設ネットワーク」データより

# HOT NEWS ほっとニュース



## 患者サポート係

今年の3月から、正面玄関の車寄せから受付周辺のエリアに「患者サポート係」を配置し、約半年が経過しました。患者さんからはたいへん良い評価をいただいています。現在、3名の方が月～金の8:30～11:00、交代でひとりずつ、患者さんのサポートをしてくれます。

### 【サポート内容】

- 車寄せから院内までの誘導
- 車いす・歩行器の提供、片づけ
- 受付会計窓口・各種検査・診察室へのご案内
- 再来受付機ご利用のお手伝い
- 自動支払機ご利用のお手伝い
- 公衆電話ご利用のお手伝い
- 自動血圧計での計測のお手伝い
- 赤ふんバス・タクシー到着のお知らせ
- 各種お問い合わせの病院担当者への取次ぎ

「患者サポート係」には、看護師からサポートに必要な知識・技術の指導を行っています。ただし、有資格者ではないため、**患者さんに直接触れる「介護」には対応しておりません。**職員へお取次ぎしています。

## 七年祭り

当施設からは5名が若連中の一員として令和元年の七年祭りに参加いたしました。

年が明けてから約半年間、毎日のように仕事が終わってから練習をしました。職員の協力もあり、祭り期間中はほとんど皆が1週間の休みをいただき、祭りに参加いたしました。

各地区でお世話になった皆様、ありがとうございました。病院・老健等で見かけたらぜひお声掛けいただき、祭りの話をしていただければ幸いです。



若狭高浜病院  
附属施設の  
ご案内

## 介護老人保健施設 「老健運動会」開催!

今年は「老健運動会2019～新たな元号令和に向かって～」というテーマで運動会が開催されました。

仮装レースでは素敵な衣装に着替えて大笑いしたり皆様で力を合わせた玉入れなど印象に残る競技となりました。入所・通所の皆様本当にお疲れ様でした。

11月には老健介護フェアがあります。内容は検討中ですが多くのご来場お待ちしております。





# 外来診療担当医表

令和元年8月1日改定

診療科名		月	火	水	木	金
内科	午前	1診 加藤 安宏	1・2・3・5週 酒井 雅人 4週 小淵 岳恒	加藤 安宏	武藤 理	加藤 安宏
	午後	2診 1・3・5週 井階 友貴 2・4週 奥津 理彦	1・3・5週 植木 愛 循環器 2・4週 田川雅梓	奥津 理彦	循環器 1・3・5週 松尾清成 2・4週 植木 愛	酒井 雅人
外科	午前	1診 河野 幸裕	三浦 正博	河野 幸裕	三浦 正博	三浦 正博
整形外科	午前	1診 1・3・5週 塩谷 匠 2・4週 窪田 有咲	海透 優太	海透 優太	海透 優太	海透 優太
	午後	1診 1・3・5週 塩谷 匠 受付15時まで 2・4週 窪田 有咲				
耳鼻いんこう科	午前	受付10時半まで			寺坂 千夏	
	午後	受付15時半まで	寺坂 千夏	寺坂 千夏		
婦人科	午前	1診	吉田 好雄			2・4週 福井大学医師 月2回です
総合診療	午後	受付16時まで	4週 小淵 岳恒			

※都合により担当医師の変更が発生する場合がございます。最新の情報はホームページをご覧ください。  
※木曜日の耳鼻いんこう科は専門外来のため受付時間が10時30分までに変更になりました。

## 予約診療について

平成30年8月から一部予約診療を行っています。予約診療を行うことにより、待ち時間を短縮することができます。また、前日に検査等の準備がスムーズにできます。

- 予約は診察時にお取りします。
  - 予約のない患者さんも診察させていただきますが、待ち時間が長くなることをご了承ください。
- ご不明な点は、受付窓口までお問い合わせください。



## ご存知ですか？ 救急受診チャート「かけはし」

院長が紹介した、たかはま地域医療サポーターの会作成の「かけはし」です。何か症状がみられたとき、「すぐに受診」か「明日まで様子を見てよいか」などの判断の目安になります。高浜町内に全戸配布されていますが、若狭高浜病院の受付でもお渡ししています。ご活用ください。

## 診療受付時間のご案内



- 午前 8:15~11:30**  
(耳鼻いんこう科のみ10:30まで)  
診察は 9:00 開始です  
◆ 内科・外科・整形外科(月~金曜)  
◆ 婦人科(火曜、2・4金曜)  
◆ 耳鼻いんこう科(木曜)  
◆ 内科(循環器内科)(2・4火曜、1・3・5木曜)
- 午後 1:30~4:00**  
診察は 2:00 開始です  
◆ 総合診療(第4火曜)
- 1:30~3:00**  
診察は 2:00 開始です  
◆ 整形外科(月曜)
- 1:30~3:30**  
診察は 2:00 開始です  
◆ 耳鼻いんこう科(月曜・水曜)

休診日 土曜日、日曜日、祝日および年末年始

## 職員募集中!!

当院では右記の職種の方を募集しております。お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先 ☎0770-72-0880

- 社会福祉士 1名
- 看護師 若干名
- 介護福祉士 若干名
- 臨床検査技師(任期付) 1名
- 療養介助員 若干名
- 診療情報管理士(有資格者) 1名

## 編集後記

七年祭りでは、病院や老健でも囃子・踊り・にわかをご披露いただきました。見つめる患者さん・入所者さんのお顔がパツと明るくなり、かつて、自分がそうしていた頃に思いを馳せて、いつまでも拍手を送っておられました。地域の病院ならではの光景でした。次のお祭りも楽しみです。

ご意見・ご要望などございましたら、編集までメールでお寄せ下さい。  
E-mail main@takahama.jcho.go.jp

## 地域連携室より

入院や退院に関するご相談や、介護保険制度等についてご説明いたします。退院後の在宅サービスや、施設のご紹介等もさせていただきます。お気軽にお申し出下さい。

場所 / 1F 外来ホール北側出入口

